

Ⅱ 集計結果

1 回答数

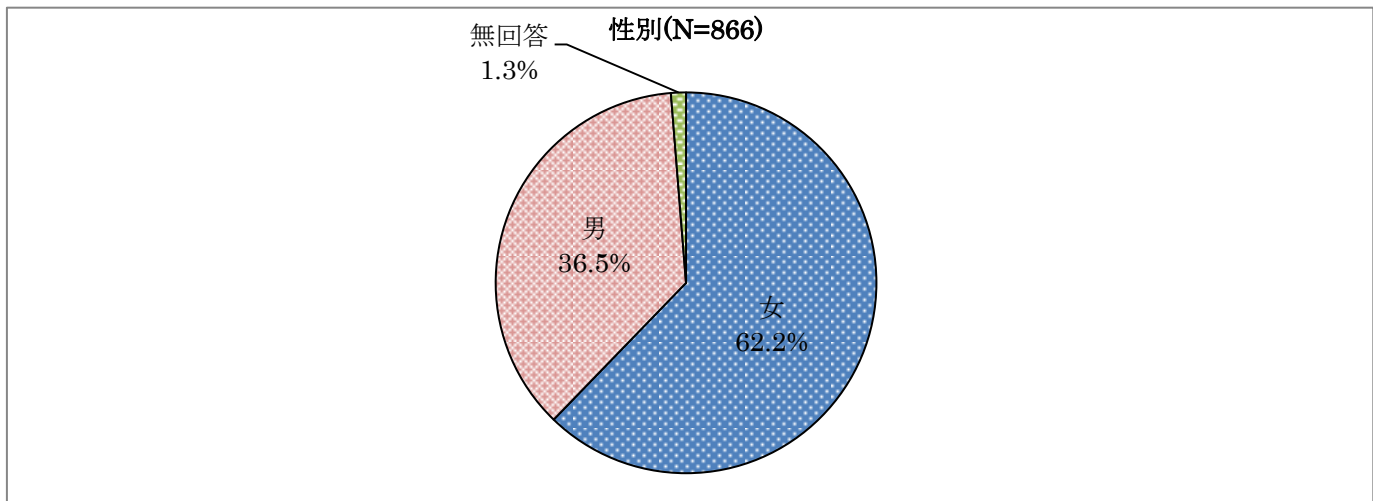
866 名

2 回答者の基本的属性

本調査では、質問票を配布する際に男女比、年代比等、なるべく均質になるよう配慮はしたが、以下の結果に示すとおり、若干のずれが生じている。実際の本県における男女比、年代比等と調査結果との比較も掲載した。

① 性別

【図 1】

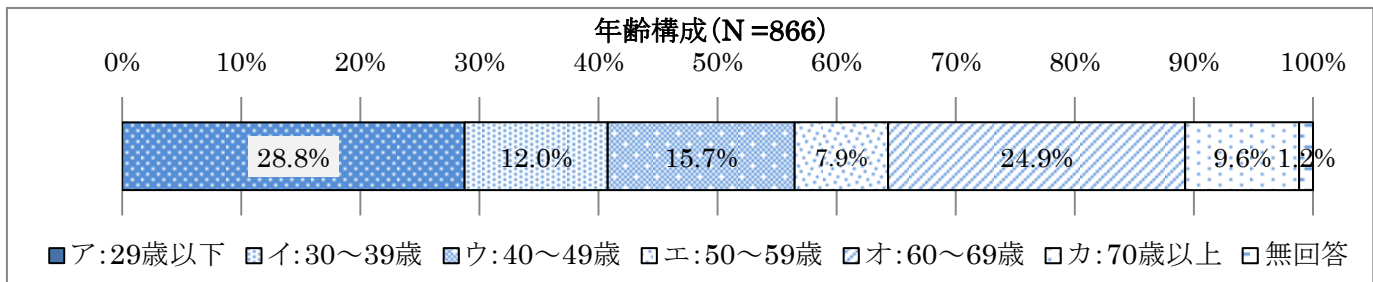


回答者のうち女性はい62.2%、男性は36.5%である。

本県の人口は、調査実施時（平成 25 年 10 月 1 日現在）1,987,119 人で、うち女性が 1,000,054 人で全体に占める割合は 50.3%、男性が 987,065 人で 49.7%あった。よって、回答者全員について得られた調査結果については、女性の意見が若干強く反映されている可能性があることに注意して数値を読み取っていく必要がある。

② 年齢構成

【図 2】



上段(人) 下段(%)

【表 3】

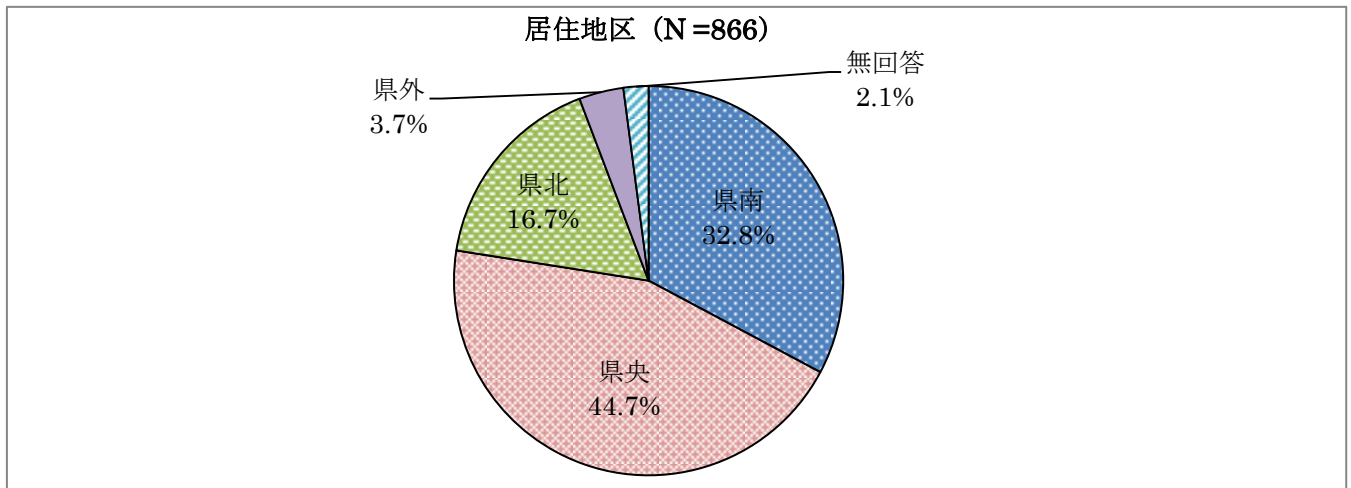
	29 歳以下	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70 歳以上	無回答その他
調査対象の年代別回答者(N=866)	249	104	136	68	216	83	10
	28.8	12.0	15.7	7.9	24.9	9.6	1.2
県年代別人口(総人口 1,987,119 人)	543,401	259,485	271,244	256,548	297,234	337,475	21,732
	27.3	13.1	13.7	12.9	15.0	17.0	1.1

回答者全体の年齢構成【図 2】から、「ア：29 歳以下」の回答者が 28.8%で最も割合が高く、「オ：60～69 歳」が 24.9%と続く。最も割合が低いのは「エ：50～59 歳」で 7.9%であった。

【表 3】調査対象の年代別回答者と県年代別人口（平成 25 年 10 月現在）の割合を比較すると、「70 歳以上」が 7.4 ポイント（県 17.0%、回答者 9.6%）回答者が下回っている。また「60～69 歳」では 9.9 ポイント（県 15.0%、回答者 24.9%）回答者が上回っている。回答者全員について得られた調査結果については、「60～69 歳」の意見が若干強く反映されていたり、「70 歳以上」の意見が反映されにくくなっていたりする等の可能性もあることを考慮する必要がある。

③ 居住地区

【図4】



【表5】

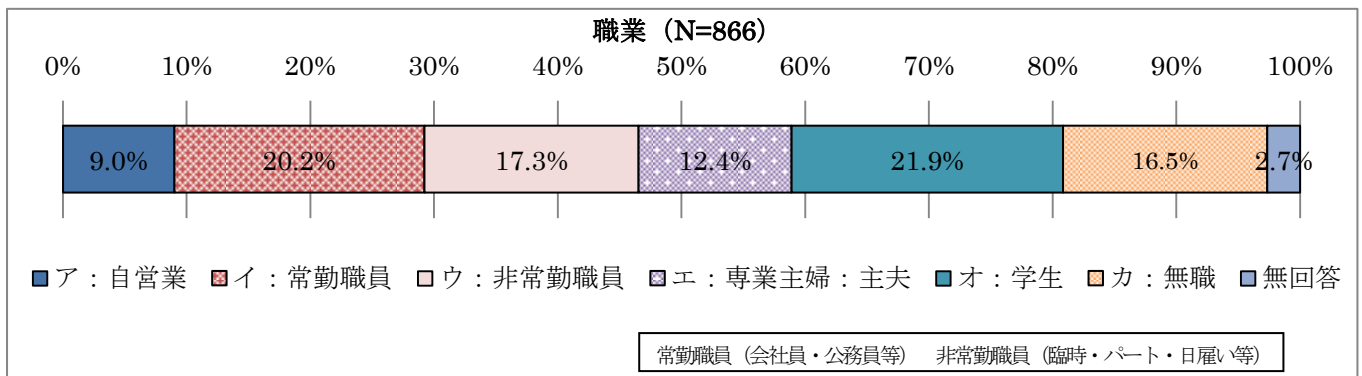
県南	【下都賀地区】 【安足地区】	1 壬生町 2 野木町 3 岩舟町※ 4 小山市 5 栃木市 6 下野市 7 佐野市 8 足利市 ※調査時は岩舟町であったが現在は栃木市
県央	【河内地区】【上都賀地区】 【芳賀地区】	9 宇都宮市 10 上三川町 11 鹿沼市 12 日光市 13 真岡市 14 益子町 15 茂木町 16 市貝町 17 芳賀町
県北	【塩谷南那須地区】 【那須地区】	18 矢板市 19 さくら市 20 那須烏山市 21 塩谷町 22 高根沢町 23 那珂川町 24 大田原市 25 那須町 26 那須塩原市
県外		27 その他

回答者の居住地は、県を「県南地区」、「県央地区」、「県北地区」の3つのエリア【表5】に分けて示す。なお、県外居住者で県内企業への勤務者からの回答も見られたが、それらの回答も除外せずに集計に加えている。

回答者の割合は、「県央地区」が44.7%で最も多く（県央地区人口879,937人※、県総人口に占める割合44.3%）、続いて「県南地区」の32.8%（県南地区人口721,668人※、県総人口に占める割合36.3%）、「県北地区」の16.7%（県北385,514人※、県全体に占める割合19.4%）である。（※人口は平成25年10月1日現在）各地区における回答者の割合は、概ね実際の各エリアの人口分布に近い値となっている。

④ 職業

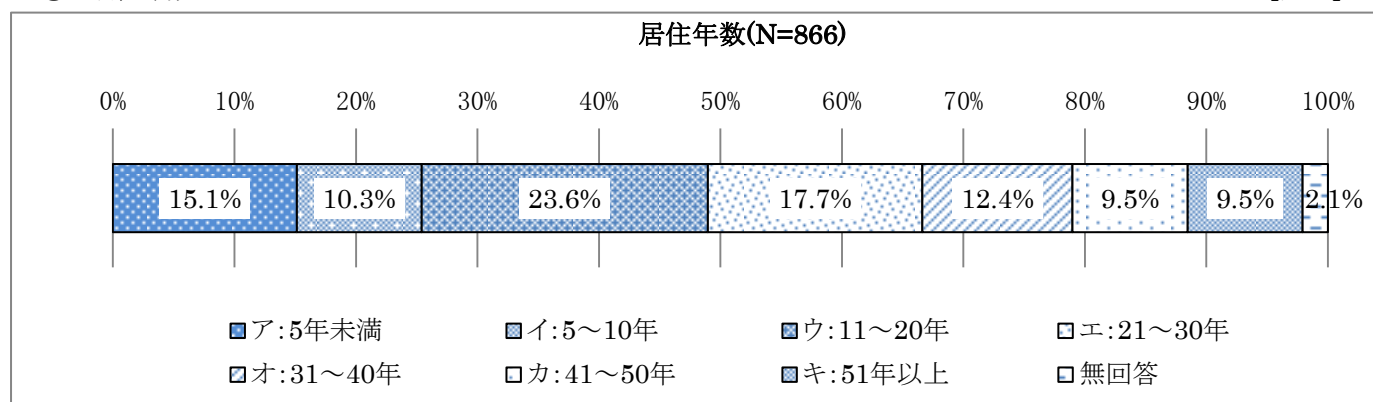
【図6】



回答者全体の職業別に見た割合では、「オ:学生」が21.9%で最も高く、続いて「イ:常勤職員」20.2%となる。

⑤ 居住年数

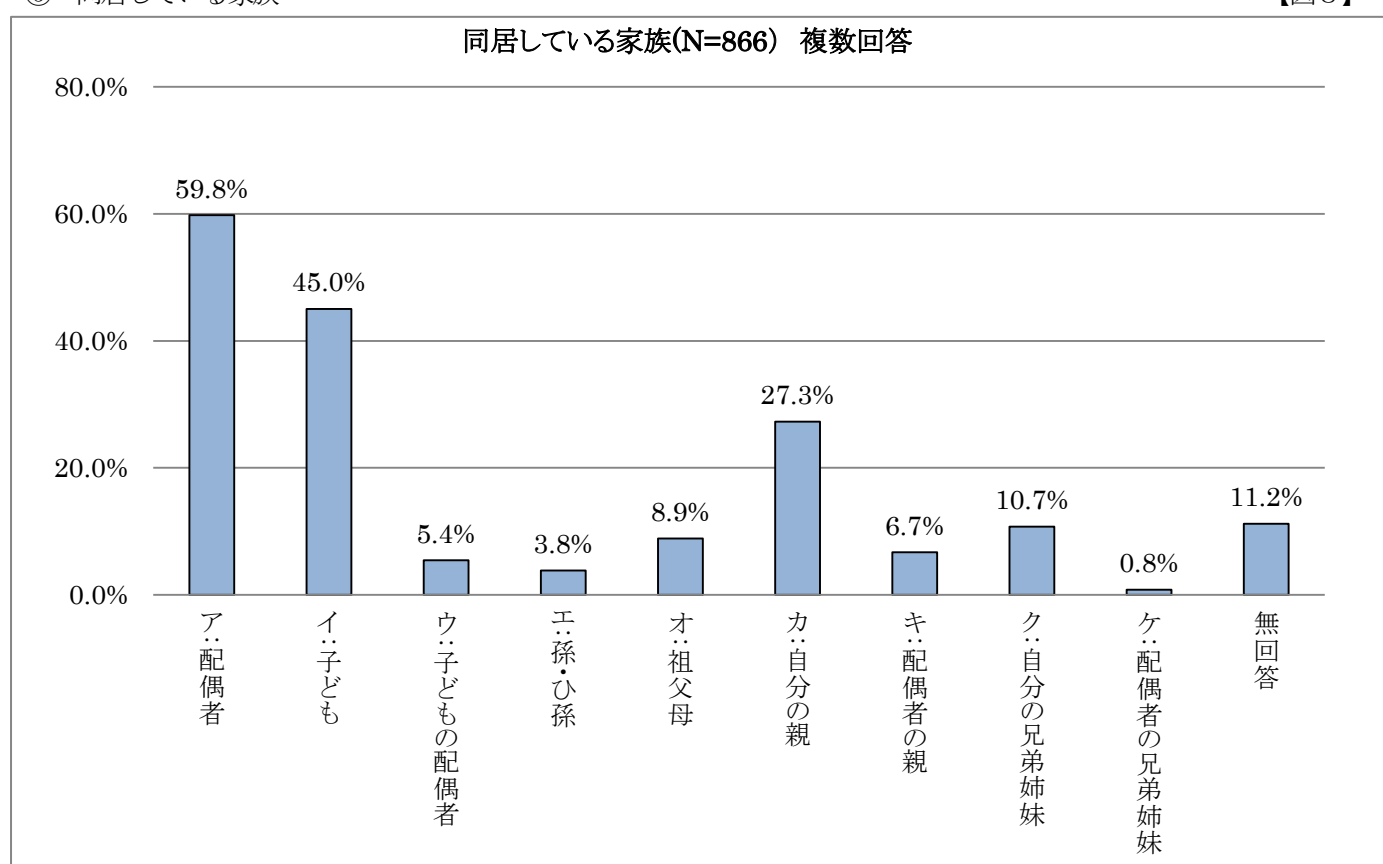
【図7】



回答者全体の居住年数の割合をみると、「ウ:11～20年」が23.6%で最も多く、「エ:21～30年」17.7%、「ア:5年未満」15.1%と続く。

⑥ 同居している家族

【図8】



「ア:配偶者」と同居しているという割合が59.8%で、回答者全体のうち約6割が既婚者である。次に「イ:子ども」が45.0%、「カ:自分の親」が27.3%と続く。また、「オ:祖父母」(8.9%)、「エ:孫・ひ孫」(3.8%)等との同居、つまり3世代以上の家庭は約1割強と推定できる。

3 本県のソーシャル・キャピタルの醸成（単純集計から）

調査票の問1から問4までの回答についての単純集計結果を示す。

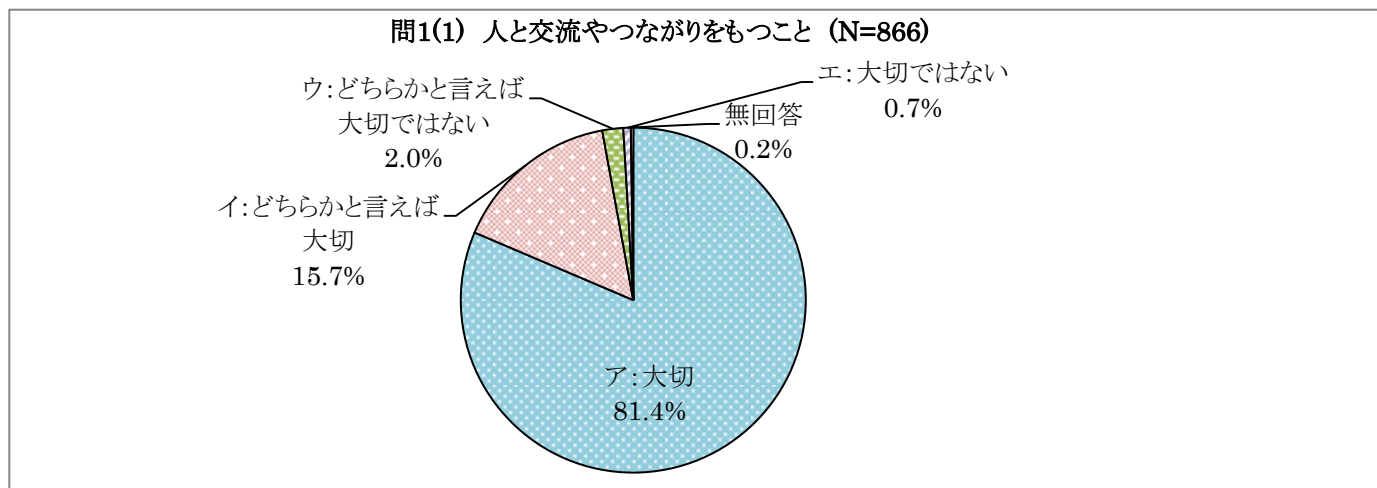
(1) 人との交流・つながりについて

① 交流・つながりへの意識

問1 (1)

人と直接会って話をしたり、一緒に活動したりして、交流・つながりをもつことについて、どのように考えますか。
(SA)

【図9】



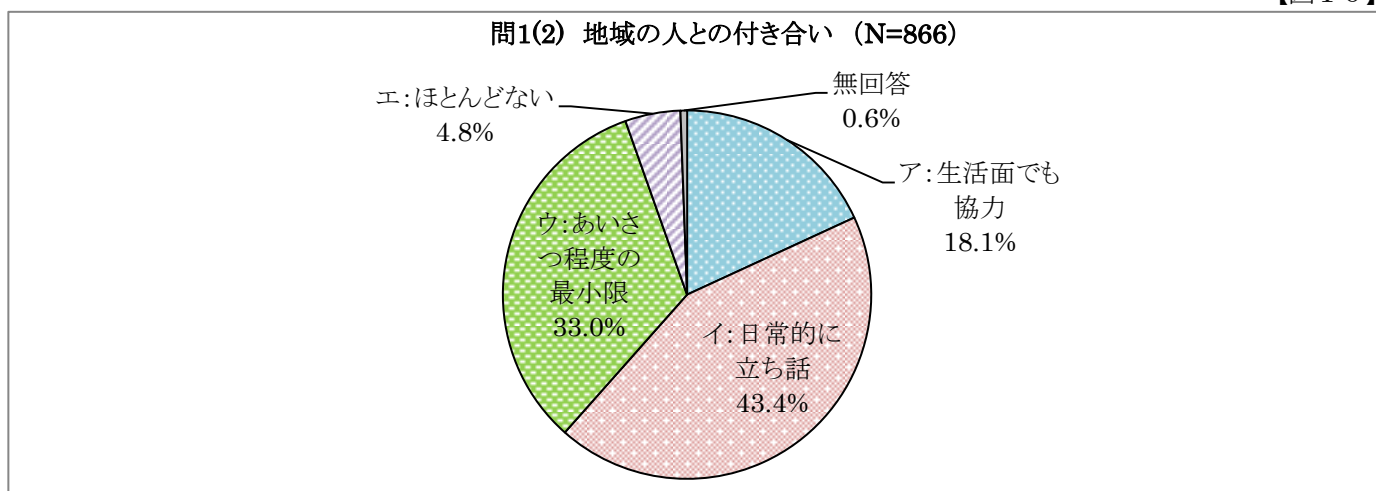
「直接会って話をしたり、一緒に活動したり」という点で人との交流・つながりについての意識を質問した。全体では、81.4%が「ア：大切だと思う（以下、大切）」と回答している。「イ：どちらかと言えば大切だと思う（以下、どちらかと言えば大切）」は15.7%である。「大切」、「どちらかと言えば大切」を合わせると97.1%である。

② 地域の人との付き合い

問1 (2)

地域の方とどのようなお付き合いをされていますか。(SA)

【図10】



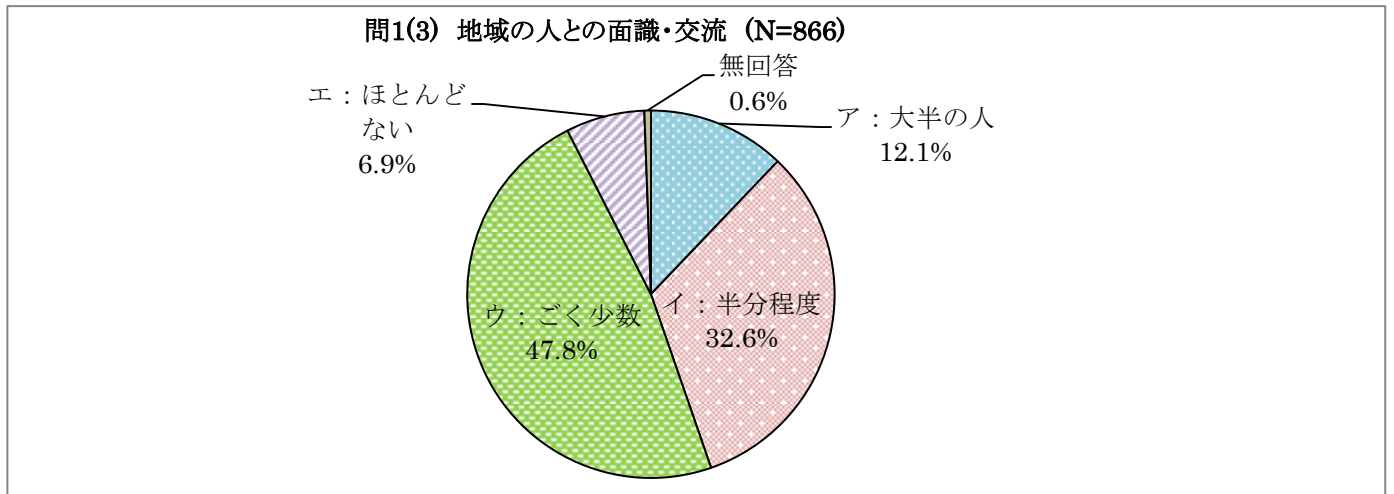
地域の人との付き合いの程度を質問した。「イ：日常的に立ち話をする程度の付き合いはしている（以下、日常的に立ち話）」が43.4%で最も多い。続いて「ウ：あいさつ程度の最小限の付き合いしかしていない（以下、あいさつ程度の最小限）」が33.0%である。「ア：互いに相談したり日用品の貸し借りをしたりするなど、生活面でも協力し合っている人もいる（以下、生活面でも協力）」は18.1%である。「生活面でも協力」「日常的に立ち話」「あいさつ程度の最小限」を合計すると94.5%である。4.8%ではあるが「ほとんどない」という回答も見られる。

③ 地域の人との面識・交流

問1（3）

地域のどのくらいの人と面識・交流がありますか。（S A）

【図1 1】



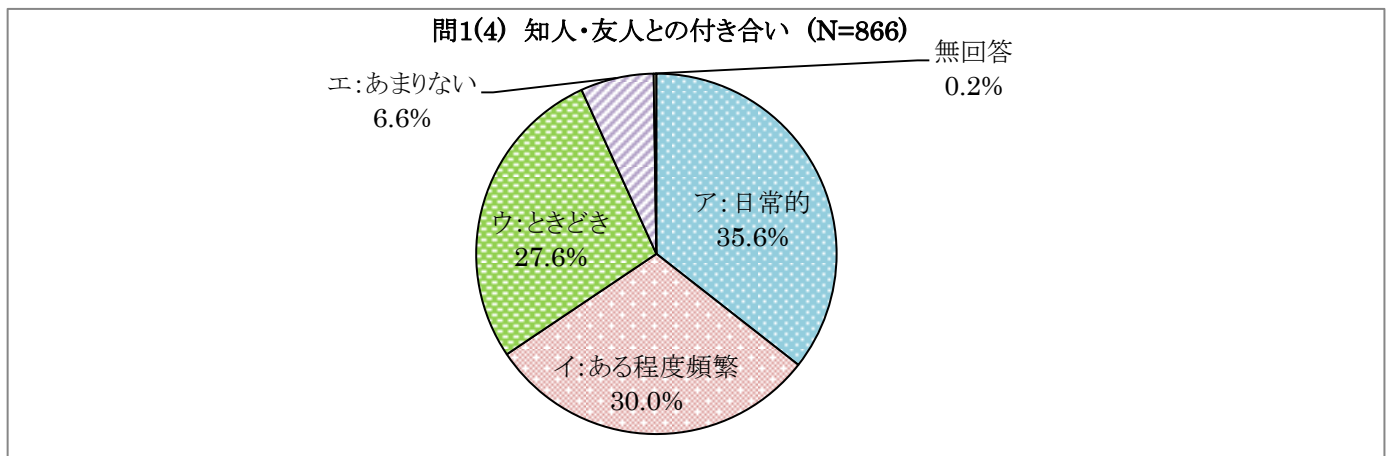
地域のどのくらいの人と面識・交流があるかについての質問した。「ウ：地域のごく少数の人とだけ（以下、ごく少数）」が47.8%で最も高い割合である。「イ：地域の半分程度の人と（以下、半分程度）」と回答した割合は32.6%でほぼ3分の1である。「ア：地域の大半の人と面識・交流がある（以下、大半の人）」と回答した割合は12.1%である。「大半の人」「半分程度」「ごく少数」を合わせ、地域の人と何らかの面識・交流がある割合は92.8%と9割以上を占める。6.9%が「ほとんどない」と回答している。

④ 友人・知人との付き合い・交流

問1（4）

友人・知人（地域内外を問わず）とのつきあい・交流はありますか。（S A）

【図1 2】



知人・友人（地域の人に限らず）との交流の頻度について質問した。「ア：日常的（ほぼ毎日）にある（以下、日常的）」と回答した割合は35.6%で最も高かった。「イ：ある程度頻繁（週に2～3回）にある。（以下、ある程度頻繁）」が30.0%、「ウ：ときどき（月に1回程度）ある（以下、ときどき）」が27.6%と続く。「日常的」「ある程度頻繁」「ときどき」を合わせ、何らかの付き合いをしている割合は93.2%である。

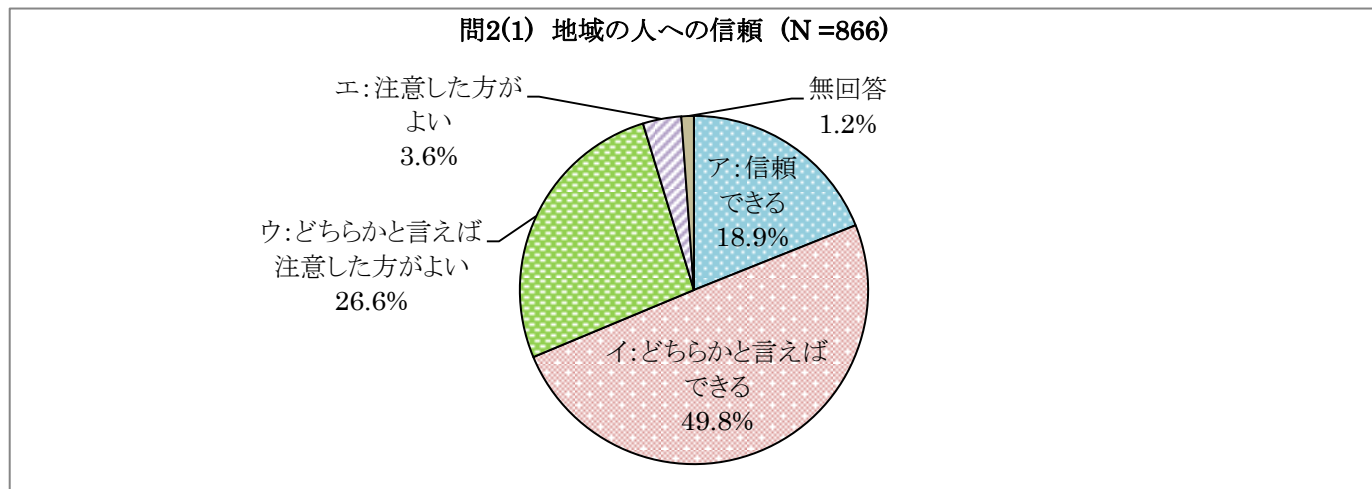
(2) 他人への信頼について

① 地域の人への信頼

問2 (1)

地域の方は信頼できると思いますか。それとも注意をするに越したことはないと思いますか。(SA)

【図1 3】



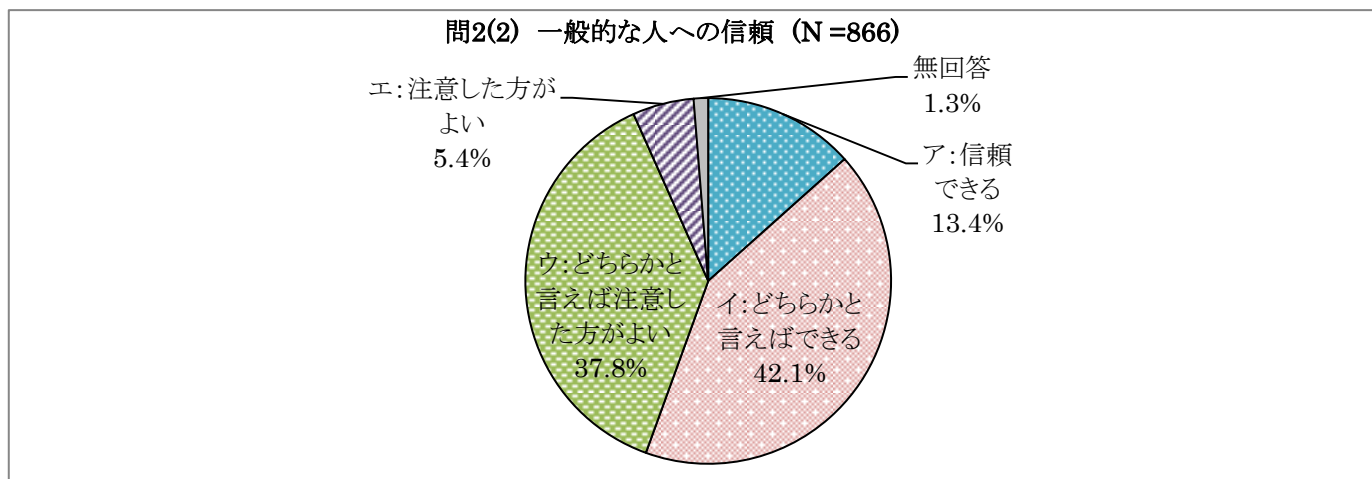
地域の人に対する信頼についての質問である。「イ：どちらかと言えば信頼できる（以下、どちらかと言えばできる）」が 49.8%でほぼ半数である。「ア：ほとんどの人は信頼できる（以下、信頼できる）」は 18.9%である。「信頼できる」「どちらかと言えばできる」を選んだ合計の割合は 68.7%である。「ウ：どちらかと言えば注意をするに越したことはない（以下、どちらかと言えば注意した方がよい）」は 26.6%で、「エ：注意をするに越したことはない（以下、注意した方がよい）」は 3.6%である。「どちらかと言えば注意した方がよい」「注意した方がよい」の合計の割合は 30.2%である。

② 一般的な人への信頼

問2 (2)

一般的に人は信頼できると思いますか。それとも注意をするに越したことはないと思いますか。(SA)

【図1 4】



一般的に人は信頼できるかという質問への回答である。「イ：どちらかと言えば信頼できる（以下、どちらかと言えばできる）」が 42.1%で最も高い割合である。続いて「ウ：どちらかと言えば注意をするに越したことはない（以下、どちらかと言えば注意）」が 37.8%である。「ア：ほとんどの人は信頼できる（以下、信頼できる）」は 13.4%で、「どちらかと言えばできる」を合わせると 55.5%である。

(3) 地域活動への参加について

① 地域活動への参加状況

問3 (1)

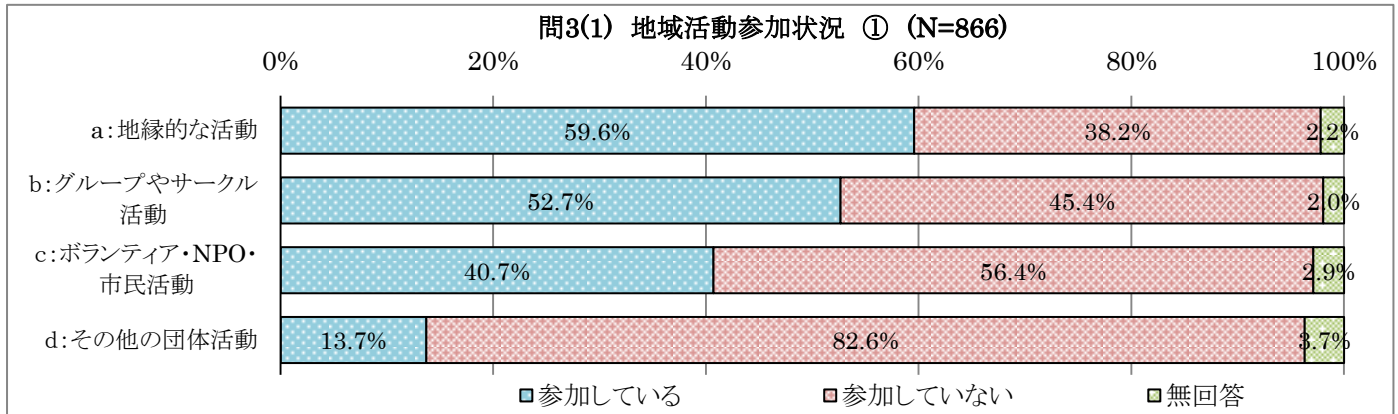
現在、以下のa～dの項目への参加状況について、あてはまるもの。(SA)

1：週3回以上 2：週1～2回 3：月2～3回 4：月1回程度 5：年数回程度 6：参加していない

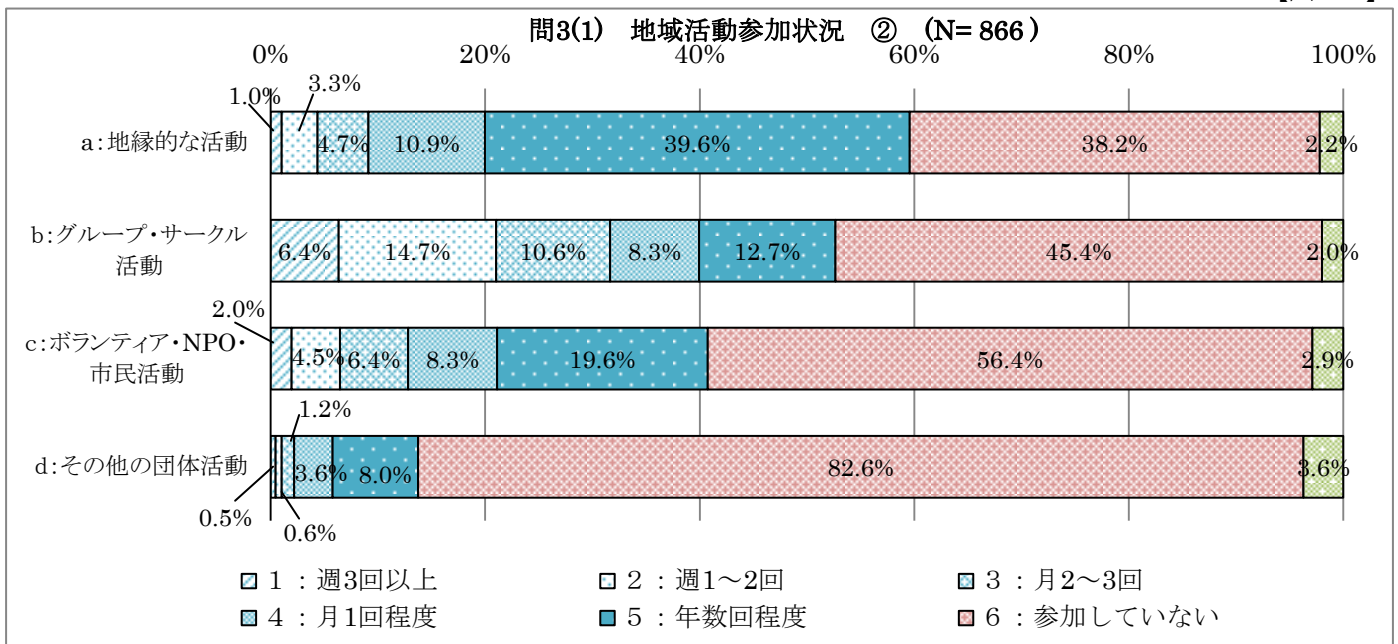
活動分類表

- a 地縁的な活動・・・自治会、町内会、婦人会、老人会、青年団、子ども会育成会等
- b グループやサークル活動・・・スポーツ・趣味・子育て・講座修了者で立ち上げたもの等
- c ボランティア・NPO、市民活動・・・まちづくり、福祉、スポーツ指導、環境保護、防災・防犯等
- d その他の団体活動・・・商工会、業種組合、宗教、政治等

【図15】



【図16】



地域活動への参加状況について質問した。活動は分類表のとおり、a～dの4つの分野に分けた。

【図15】は、回答者全体の活動への参加の有無である。「a：地縁的な活動」への参加が59.6%と最も高い割合である。以下「b：グループやサークル活動」52.7%、「c：ボランティア・NPO・市民活動」40.7%、「d：その他の団体活動」13.7%と続く。

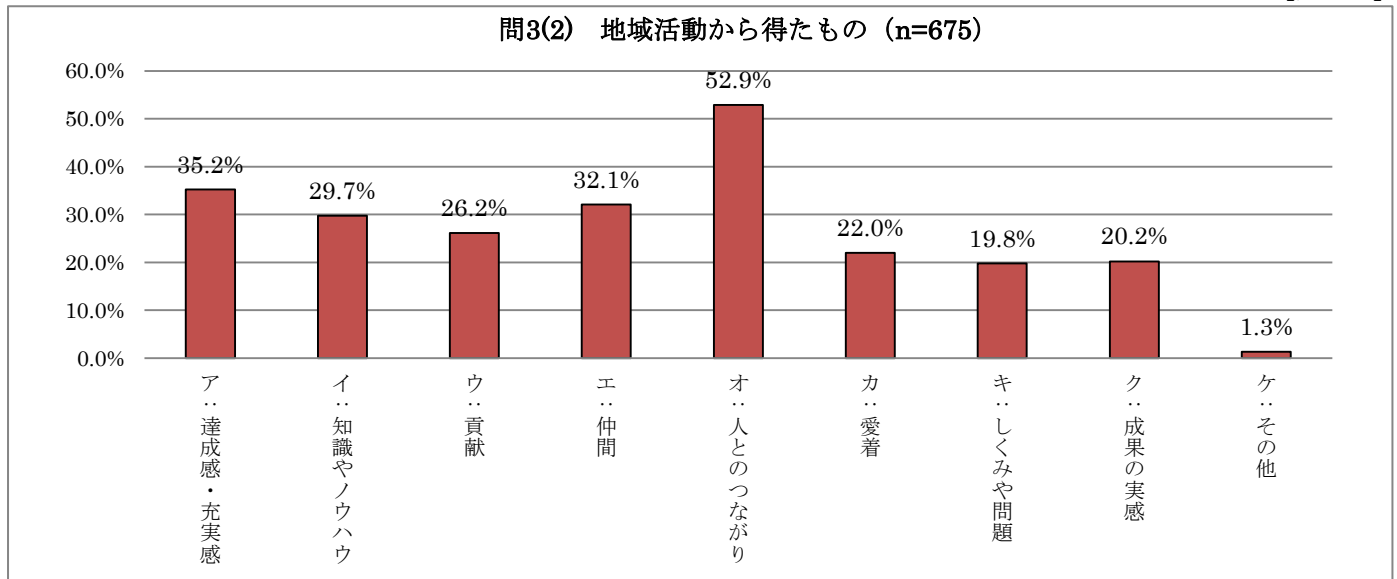
【図16】は、地域活動への参加頻度である。「参加していない」を除けば、「a：地縁的な活動」「c：ボランティア・NPO・市民活動」「d：その他の団体活動」はいずれも、「5：年数回程度」参加しているという回答が最も多い。「b：グループ・サークル活動」は「2：週1～2回」活動しているが14.7%で最も高い割合である。

② 地域活動から得たもの

問3（2）

問3（1）a～dの1つでも1～5に○を付けた方にうかがいます。活動に参加してどんなことを得ましたか。【MA】

【図17】



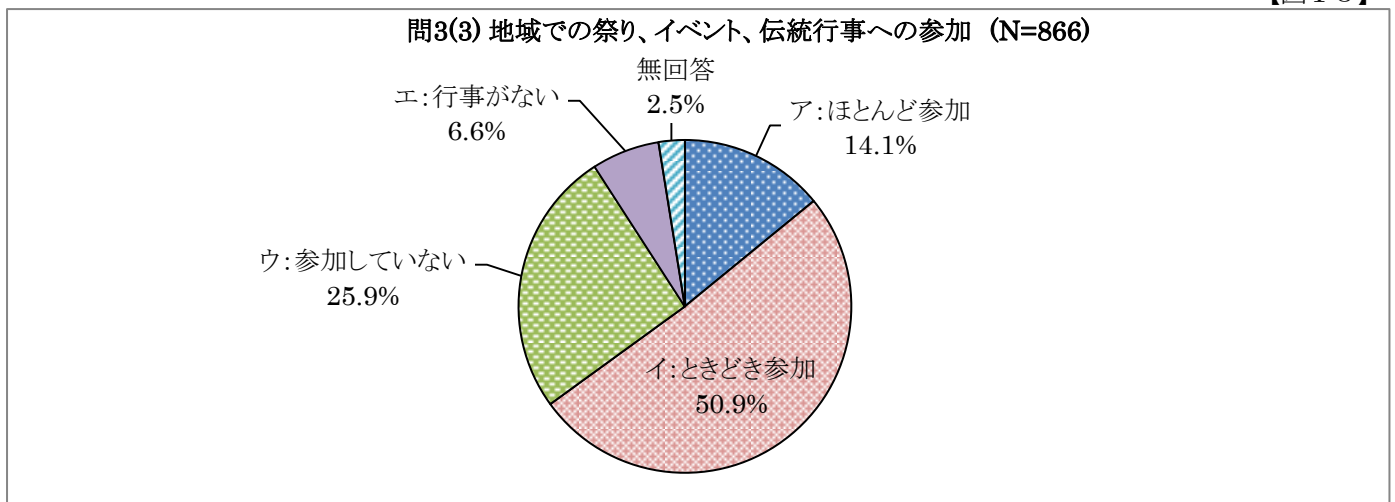
「問3(1)の地域活動への参加から得たもの」について質問した。「オ：地域のさまざまな人とのつながりができた（以下、人とのつながり）」が52.9%で最も高い。次に「ア：達成感・充実感を味わえた（以下、達成感・充実感）」35.2%、「エ：価値観を共有できる仲間ができた（以下、仲間）」32.1%と続く。

③ 地域での祭り、イベント、伝統行事への参加状況

問3（3）

地域での祭り、イベント、伝統行事等への参加状況についてうかがいます。【SA】

【図18】



祭り・イベント・伝統行事等への参加状況について質問した。「イ：ときどき参加している（以下、ときどき参加）」という回答が50.9%で最も多い。「ア：ほとんど参加している（以下、ほとんど参加）」の14.1%と合わせて、全体の65.0%が地域の「祭り・イベント・伝統行事」に参加していることが分かる。「ウ：地域での祭り、イベント、伝統行事等はあるが参加していない（以下、参加していない）」は25.9%、「エ：地域で実施している祭り、イベント、伝統行事等がない（以下、行事がない）」は6.6%である。合計すると32.5%、3割強は地域での「祭り、イベント、伝統行事等」に参加していないということになる。

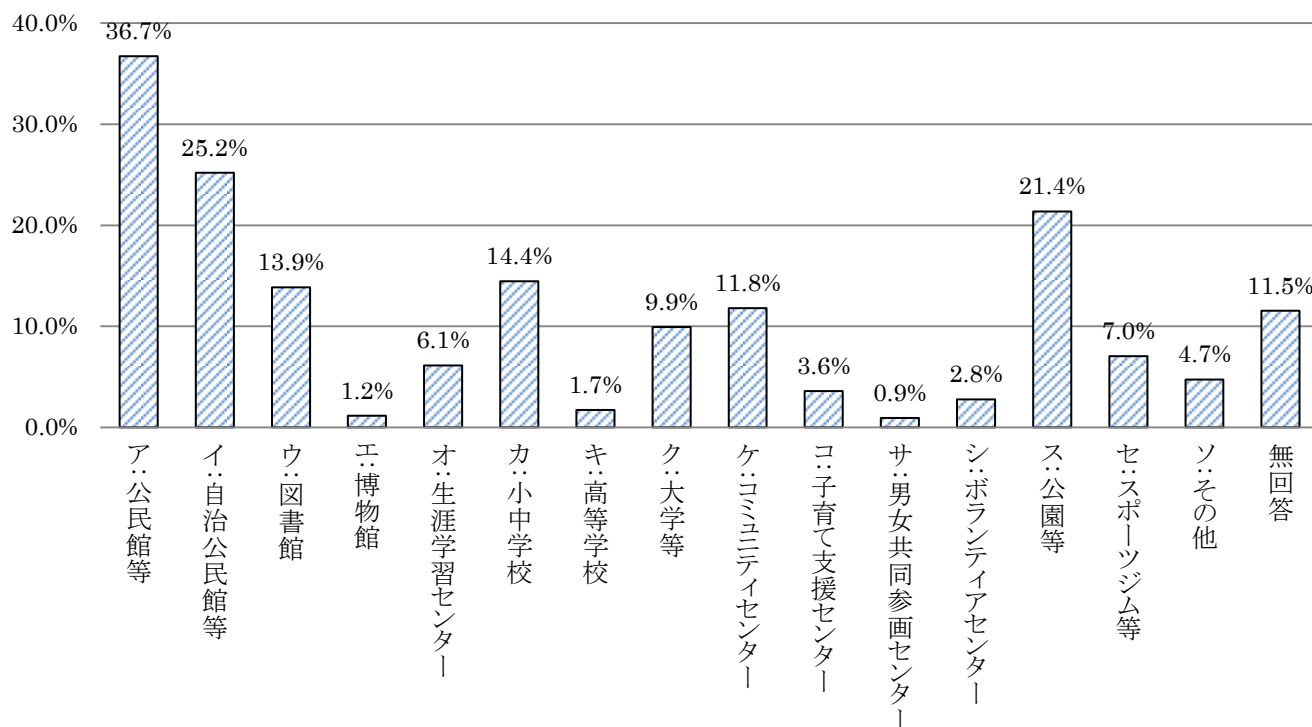
④ 人との交流に利用する施設・場所

問3（4）

人と交流するときによく利用する施設・場所についてうかがいます。【MA】（主なもの3つまで）

【図19】

問3(4) 交流するときによく利用する施設・場所 (N=866)



【その他の記述】

保育園・児童館、レストラン・飲食店・コンビニ、ショッピングモール、YMCA、自宅、お互いの家、家の近く（道端）、体育館、カルチャーセンター、老人保健センター、NHK、スタジオ、宗教の集会所、寺社、新年会の会場、福祉センター、市民情報センター、ほほえみセンター

利用しているという回答が最も多かったのは、「ア：公民館等」の 36.7%であった。次が「イ：自治公民館等」25.2%、「ス：公園等」21.4%で、それぞれ 20%以上の回答があった。

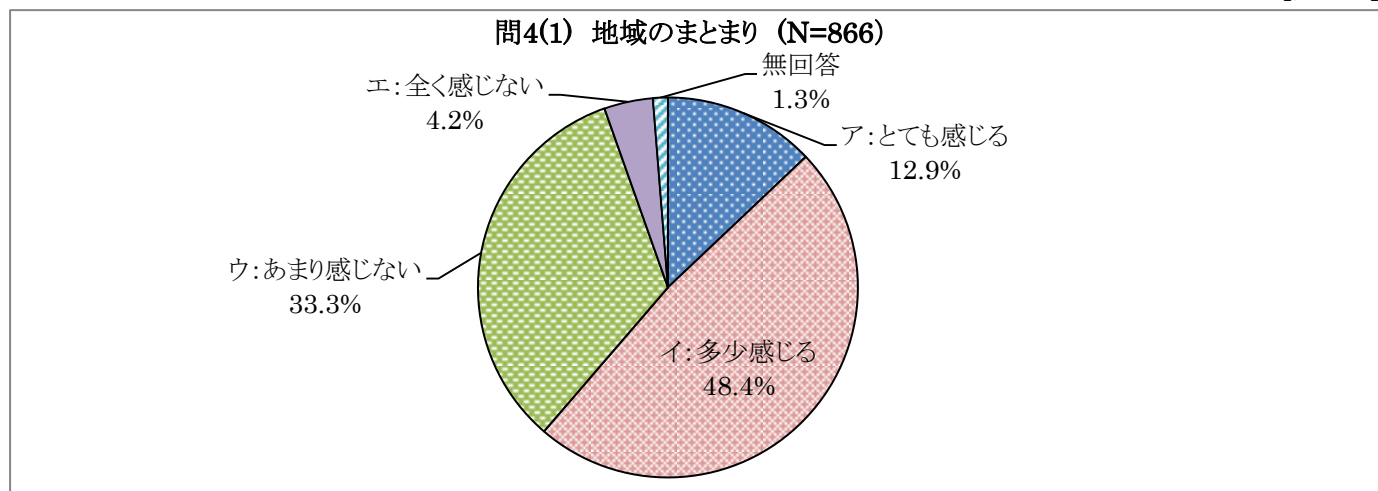
(4) 地域について感じていること

① 地域のまとまりについて

問4 (1)

あなたの地域はまとまりがあると感じますか。【SA】

【図20】



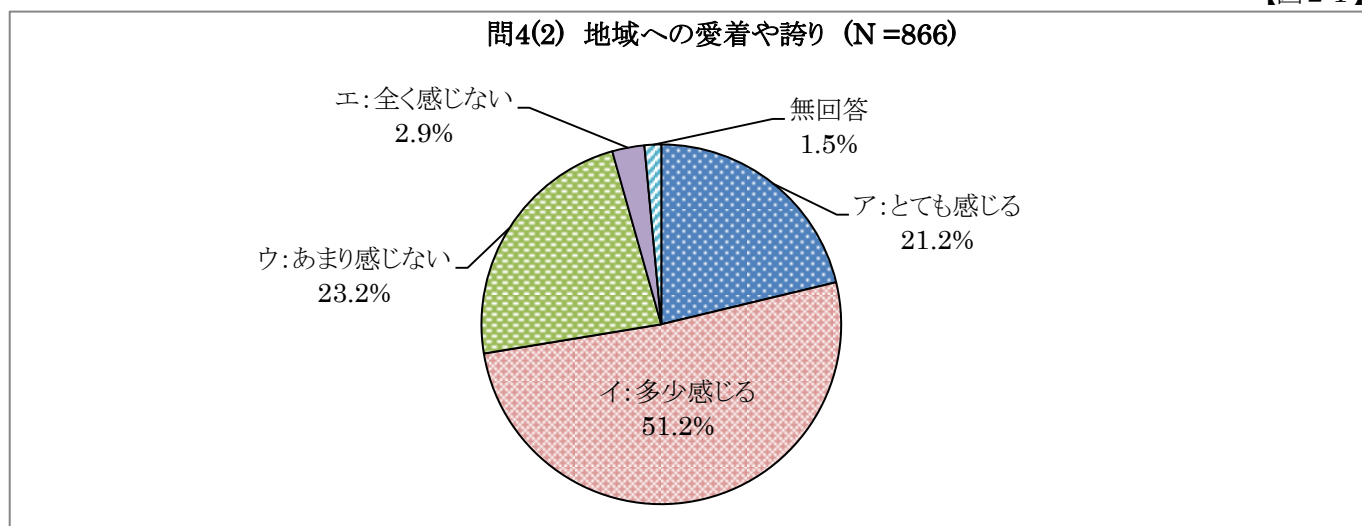
地域のまとまりを感じるかについて質問した。「イ：多少感じる」が48.4%で最も高い割合である。「ア：とても感じる」は12.9%である。「とても感じる」「多少感じる」の合計の割合は61.3%である。

② 地域への愛着や誇りにについて

問4 (2)

地域に愛着や誇りを感じていますか。【SA】

【図21】



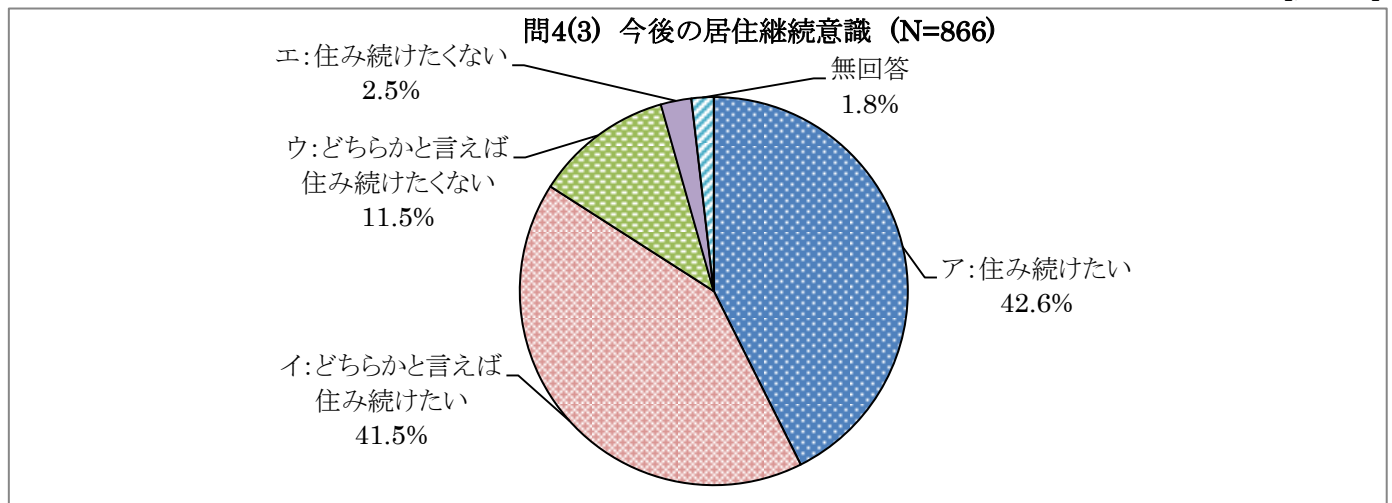
地域への誇りや愛着を感じているかについて質問した。「イ：多少感じる」は51.2%で最も選んだ割合が高い。「ア：とても感じる」が21.2%である。「とても感じる」と「多少感じる」の合計の割合は72.4%である。

③ 今後の居住継続意識

問4（3）

この地域に今後も住みたいと思いますか。【SA】

【図22】



今後も現在居住している地域に住み続けたいかについて質問した。全体では「ア：住み続けたい」が42.6%で最も高い割合である。「イ：どちらかと言えば住み続けたい」が41.5%で続く。「住み続けたい」「どちらかと言えば住み続けたい」の合計の割合は、84.1%である。

4 本県のソーシャルキャピタルの醸成（全国調査との比較）

本県のソーシャルキャピタルの醸成状況を把握するために、ソーシャル・キャピタル政策展開研究会が実施した「社会生活に関するアンケート調査」（「わが国のソーシャル・キャピタル政策展開に向けて報告書」による）の結果と本調査の結果の比較を行った。

「社会生活に関するアンケート調査」の実施概要は以下のとおりである。

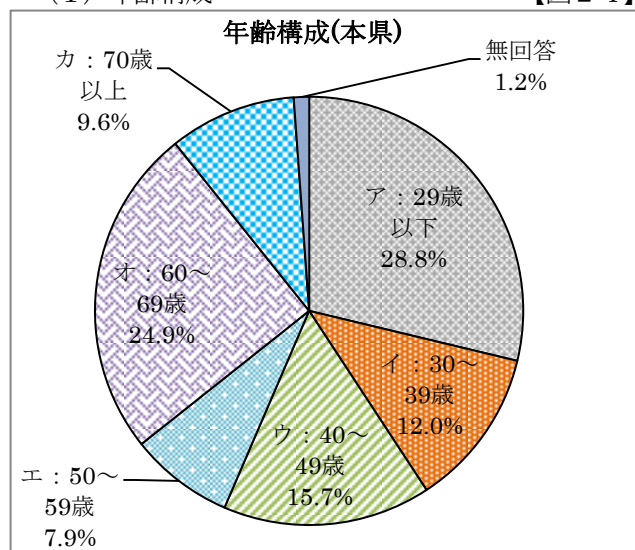
実施時期 2007年8月（報告書提出2008年2月） 調査方法 web アンケート方式 回答者数 3,000名

比較する際の留意点として、今回本県で実施した「人とのつながり、地域での活動等に関する調査」とは質問や選択肢が異なる場合があった。よって、正確な比較は困難であることを踏まえた上で、概ね質問の趣旨が近いものを対比させながら醸成状況をみていくこととした。

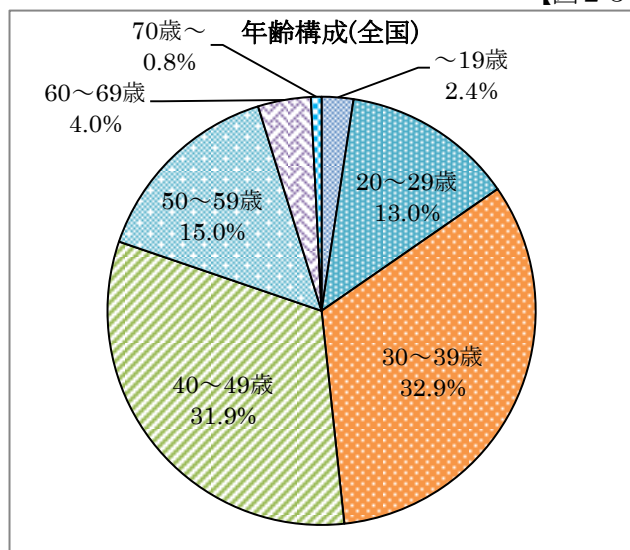
なお、本県の回答者総数は866名である。

（1）年齢構成

【図24】



【図25】



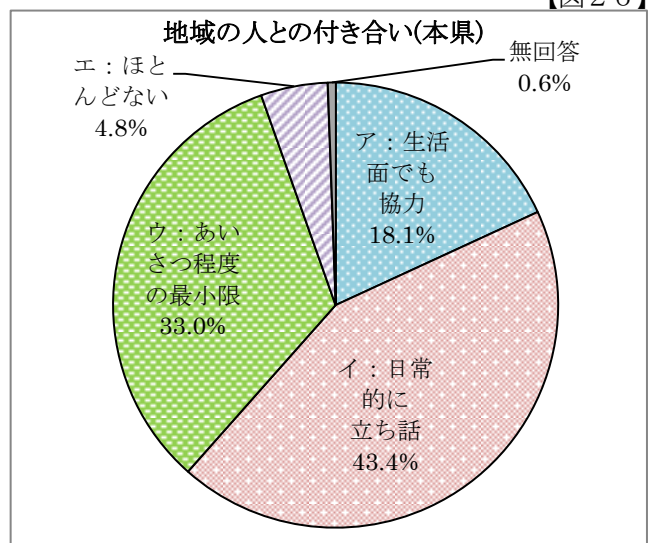
29歳以下（～19歳、20～29歳）…本県28.8%：全国15.4%、30～39歳…本県12.0%：全国32.9%、40～49歳…本県15.7%：全国31.9%、50～59歳…本県7.9%：全国15.0%、60～69歳…本県24.9%：全国4.0%、70歳以上…本県9.6%：全国0.8%である。

（2）地域の人との交流・つながりから

①地域の人との付き合い

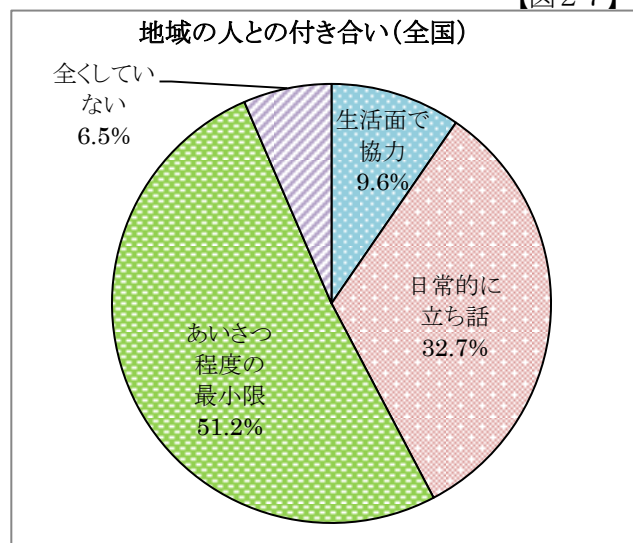
【本県 問1(2)】地域の方とどのようなお付き合いをされていますか。（SA）

【図26】



【全国】あなたは、ご近所の方とどのようなお付き合いをされていますか。（SA）

【図27】



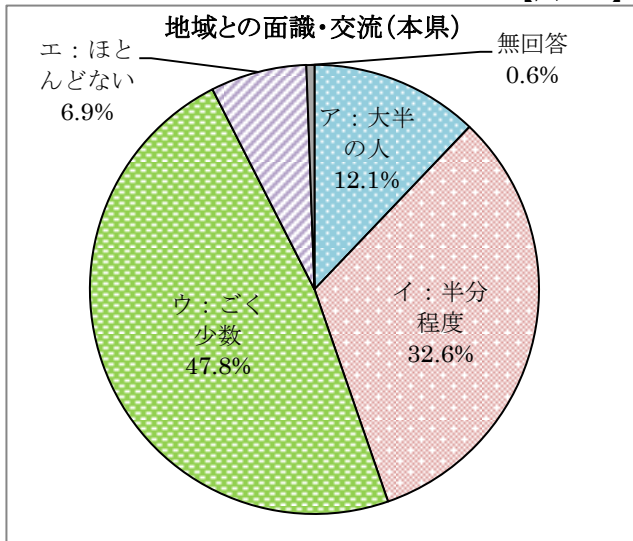
「生活面でも協力」 本県18.1%：全国9.6% …本県の方が8.5ポイント上回る。

「生活面での協力」＋「日常的に立ち話」 本県61.5%：全国42.3% …本県の方が19.2ポイント上回る。

② 地域の人との面識・交流

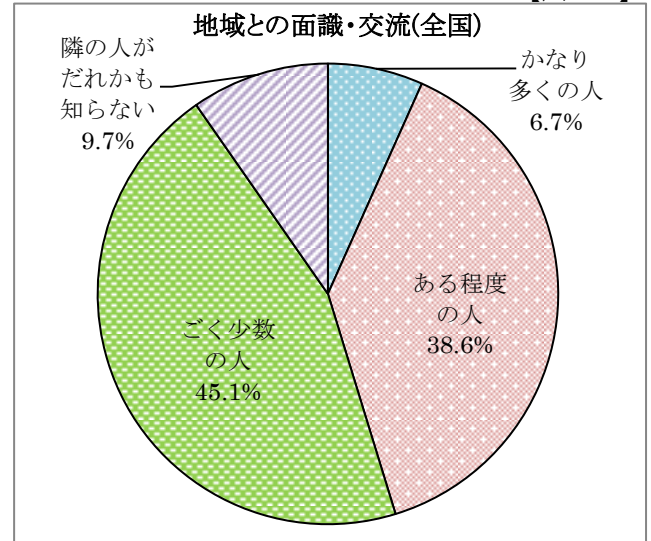
【本県 問 1 (3)】 地域のどのくらいの人と面識・交流がありますか。(SA)

【図 28】



【全国調査】 つきあっている人の数はどのくらいですか。(SA)

【図 29】

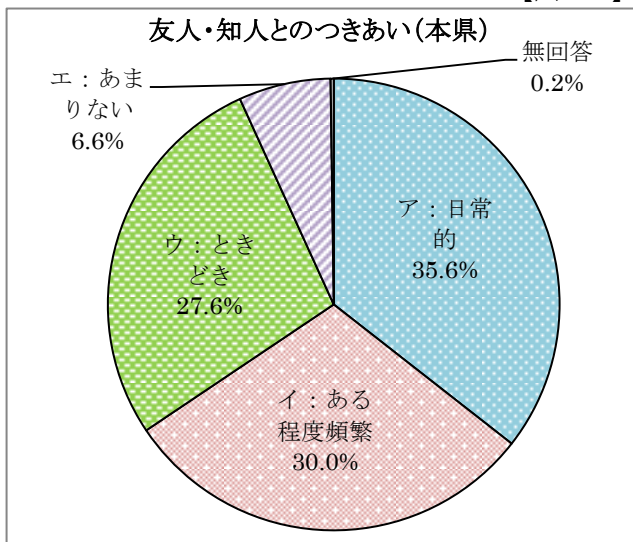


本県「大半の人」12.1%：全国「かなり多くの人」6.7% …本県が5.4ポイント上回る。
 本県「ほとんどない」6.9%：全国「隣の人がだれかも知らない」9.7% …2.8ポイント本県が下回る。

③ 友人・知人との付き合い

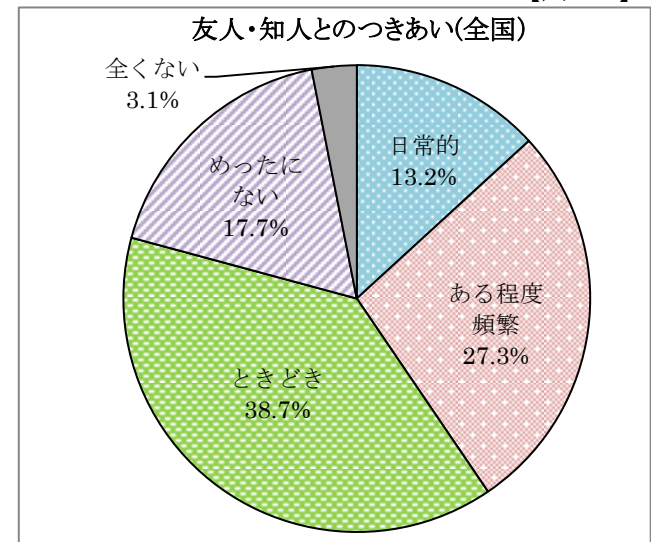
【本県 問 1 (4)】 友人・知人（地域内外を問わず）との付き合い、交流はありますか。(SA)

【図 30】



【全国調査】 友人・知人とのつきあい（学校や職場以外で）について、あなたは普段どの程度の頻度でつきあいをされていますか。(SA)

【図 31】



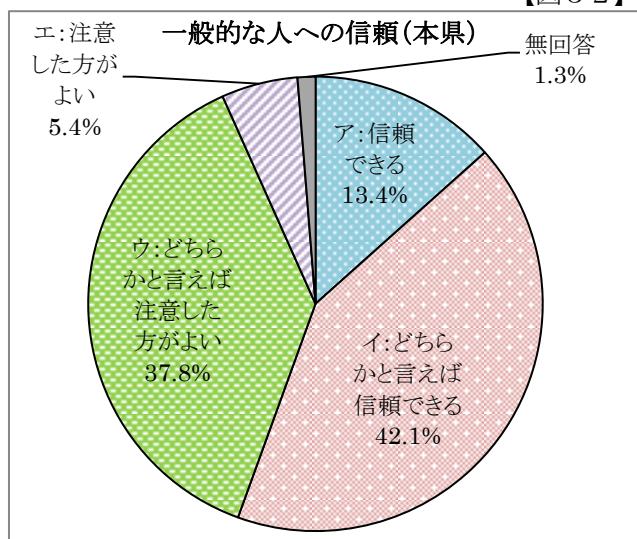
「日常的にある」 本県 35.6%：全国 13.2% …本県が22.4ポイント上回る。
 「ある程度頻繁」 本県 30.0%：全国 27.3% …本県が2.7ポイント上回る。

(3) 人への信頼について

① 一般的な人への信頼

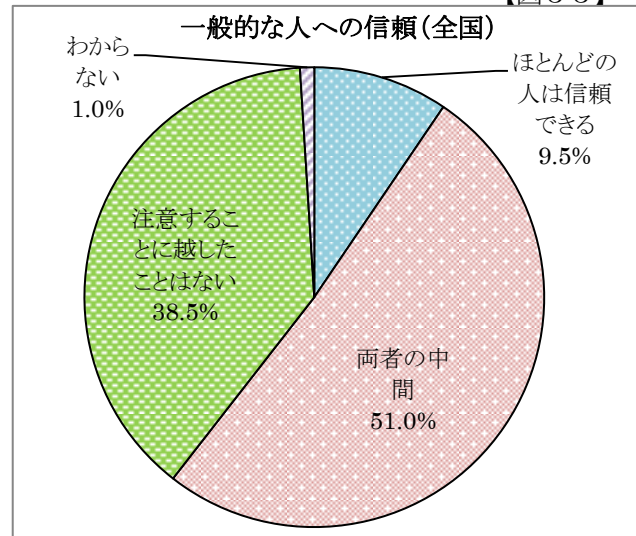
【本県 問 2 (2)】一般的に人は信頼できると思いますか。それとも注意をするに越したことはないと思いますか。(SA)

【図 3 2】



【全国】あなたは、一般的に人は信頼できると思いますか。それとも注意をするに越したことはないと思いますか。(SA)

【図 3 3】



本県「信頼できる」13.4%：全国「ほとんどの人は信頼できる」9.5% …本県が3.9ポイント全国を上回る。

(4) 地域活動への参加について

① 地縁的な活動

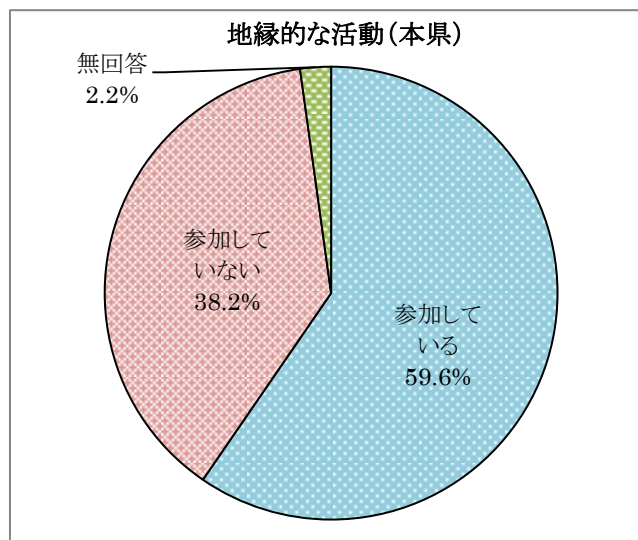
【本県 問3(1)】

a～dの項目への参加状況について選択。(SA)

- | | |
|----------|-----------|
| 1：週に3回以上 | 2：週に1～2回 |
| 3：月に2～3回 | 4：月に1回程度 |
| 5：年に数回程度 | 6：参加していない |

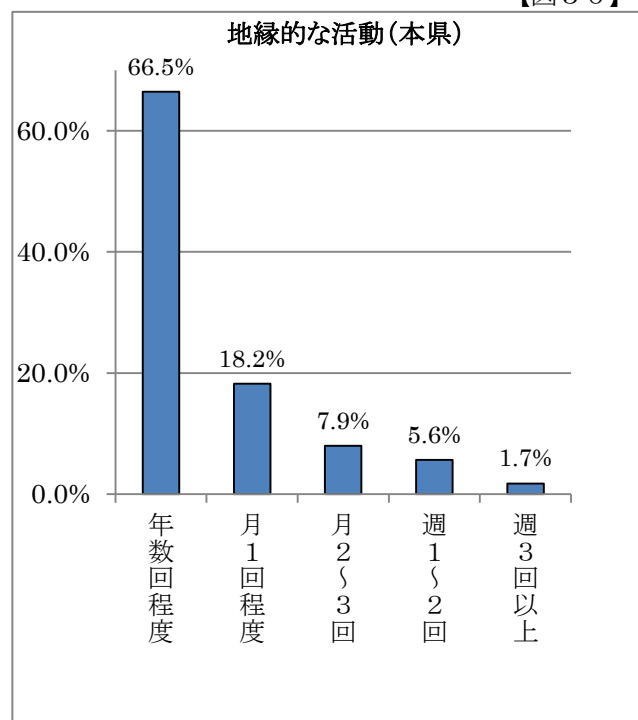
a 地縁的な活動 …自治会、町内会、婦人会、老人会、青年団、子ども会育成会等

【図34】



「参加している」…本県 59.6%、全国 22.0% 本県が 37.6 ポイント上回る。

【図36】



「年数回程度」本県 66.5%：全国 47.1%
「月に2～3回」本県 7.9%：全国 14.6%

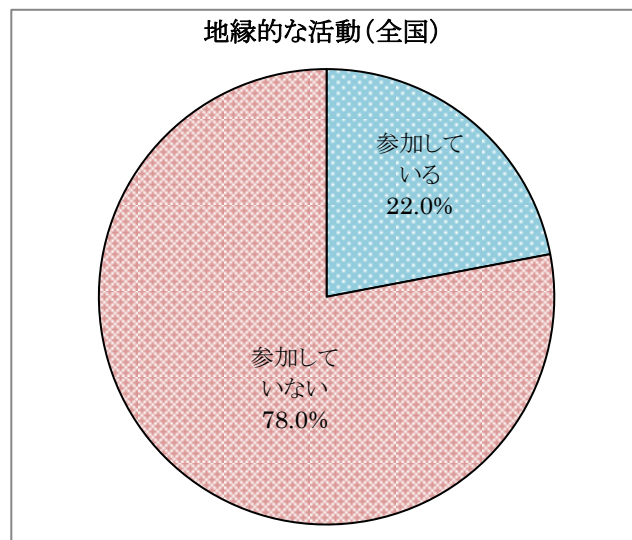
【全国】

1～4の項目について、活動の有無、及び「活動している」と回答した方のみ選択。(SA)

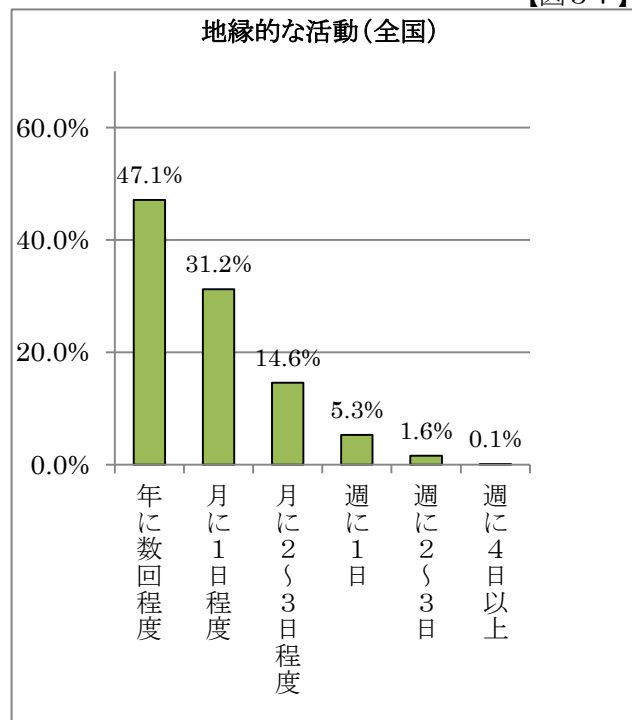
- | | |
|------------|----------|
| 1：年に数回程度 | 2：月に1日程度 |
| 3：月に2～3日程度 | 4：週に1日 |
| 5：週に2～3日 | 6：週に4日以上 |

1 地縁的な活動 …自治会、町内会、婦人会、老人会、青年団、子ども会など

【図35】



【図37】



「月に1回程度」本県 18.2%：全国 31.2%
「週1回以上の合計」本県 7.3%：全国 7.0%

② グループ・サークル活動（スポーツ・趣味・娯楽活動）

【本県 問3(1)】

a～dの項目への参加状況について選択。(SA)

- | | |
|----------|-----------|
| 1：週に3回以上 | 2：週に1～2回 |
| 3：月に2～3回 | 4：月に1回程度 |
| 5：年に数回程度 | 6：参加していない |

b グループやサークル活動 …スポーツ・趣味・子育て・講座修了者で立ち上げたもの等

【全国】

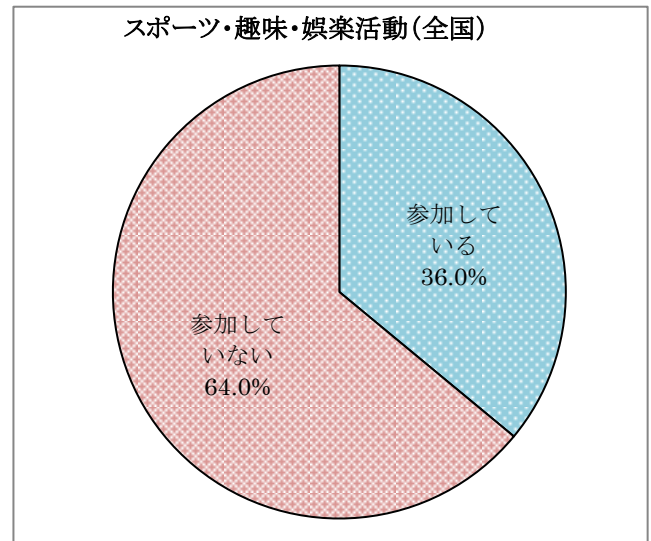
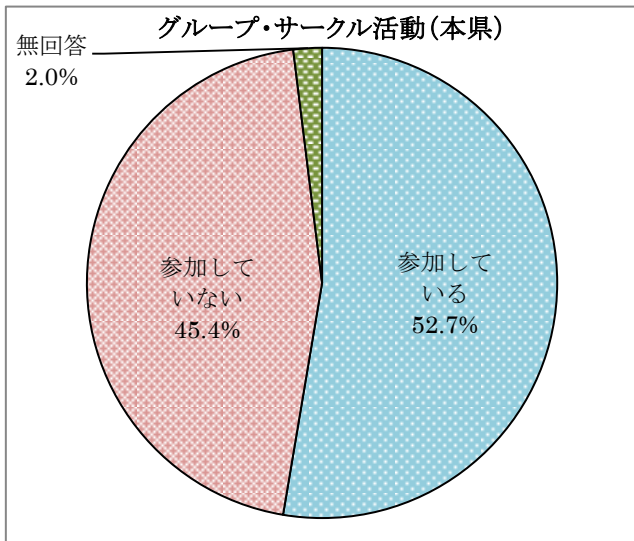
1～4の項目について、活動の有無、及び「活動している」と回答した方のみ選択。(SA)

- | | |
|------------|----------|
| 1：年に数回程度 | 2：月に1日程度 |
| 3：月に2～3日程度 | 4：週に1日 |
| 5：週に2～3日 | 6：週に4日以上 |

2 スポーツ・趣味・娯楽活動 …各種スポーツ、芸術文化活動、生涯学習など

【図38】

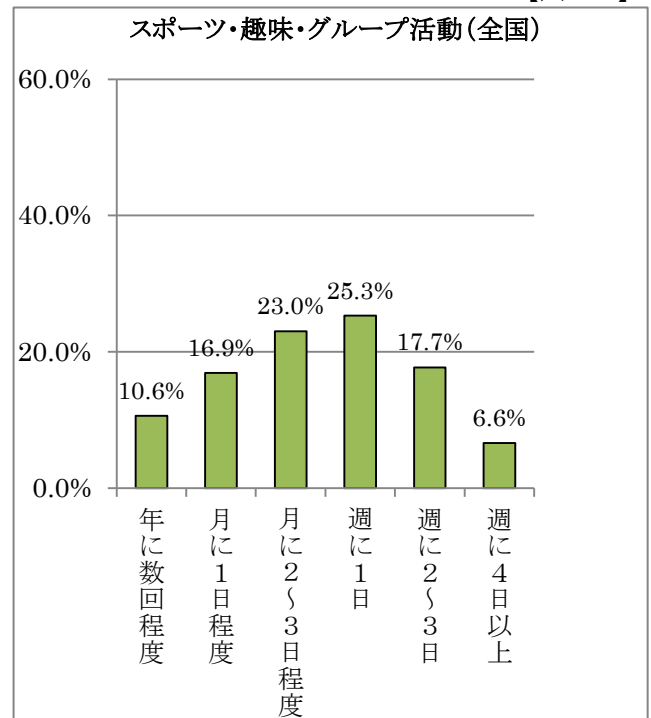
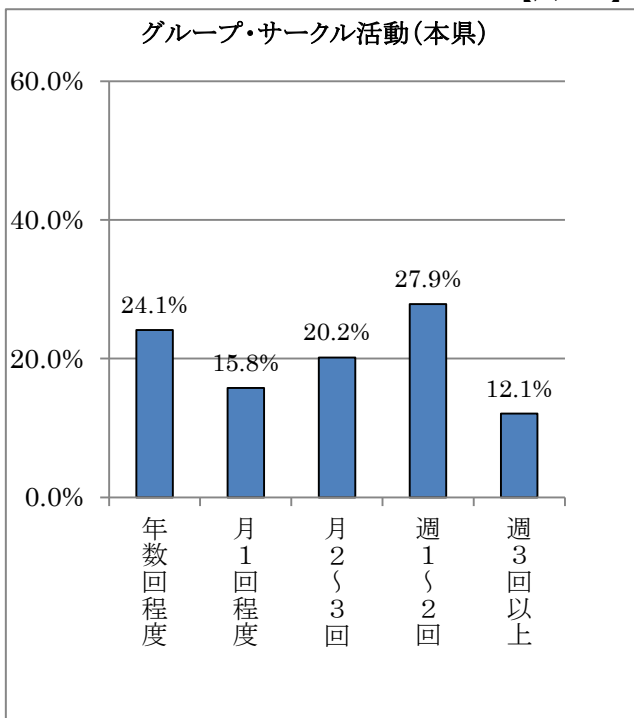
【図39】



「参加している」…本県 52.7%、全国 36.0% 本県が 16.7 ポイント上回る。

【図40】

【図41】



「年数回程度」本県 24.1%：全国 10.6%
「月2～3回」本県 20.2%：全国 23.0%

「月1回程度」本県 15.8%：全国 16.9%
「週1回以上の合計」本県 40.0%：全国 49.6%

③ ボランティア・NPO・市民活動

【本県 問3(1)】

a～dの項目への参加状況について選択。(SA)

- | | |
|----------|-----------|
| 1：週に3回以上 | 2：週に1～2回 |
| 3：月に2～3回 | 4：月に1回程度 |
| 5：年に数回程度 | 6：参加していない |

c ボランティア、NPO、市民活動 …まちづくり、福祉、スポーツ指導、環境保護、防災・防犯等

【全国】

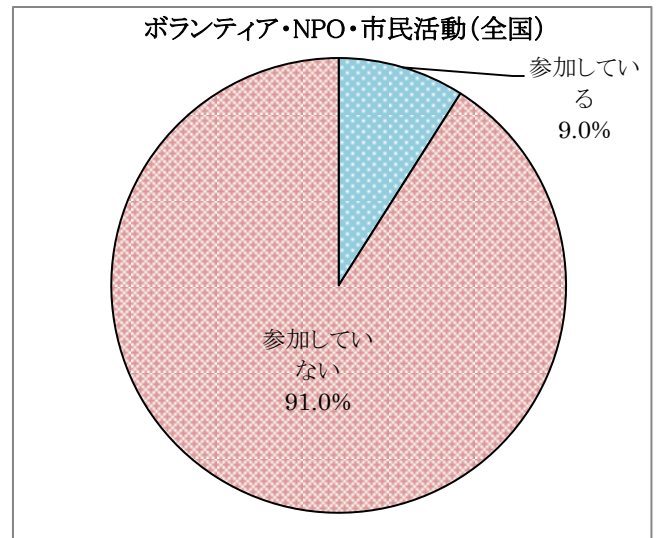
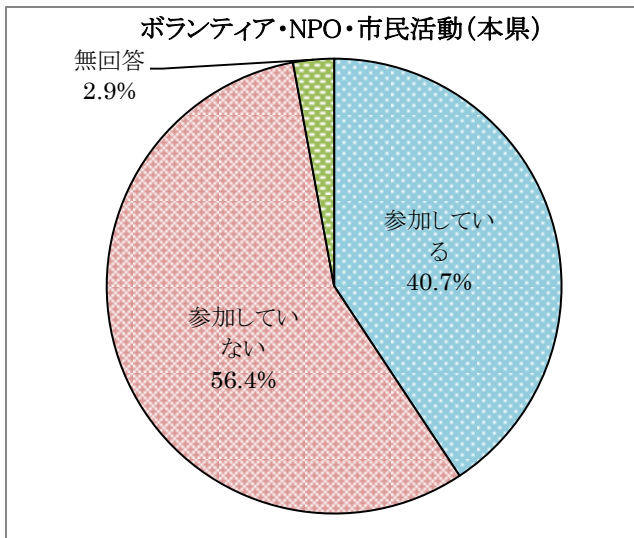
1～4の項目について、活動の有無、及び「活動している」と回答した方のみ選択。(SA)

- | | |
|------------|----------|
| 1：年に数回程度 | 2：月に1日程度 |
| 3：月に2～3日程度 | 4：週に1日 |
| 5：週に2～3日 | 6：週に4日以上 |

3 ボランティア、NPO、市民活動 …まちづくり、高齢者・障害者福祉や子育て、スポーツ指導、美化、防犯・防災、環境、国際協力活動など

【図42】

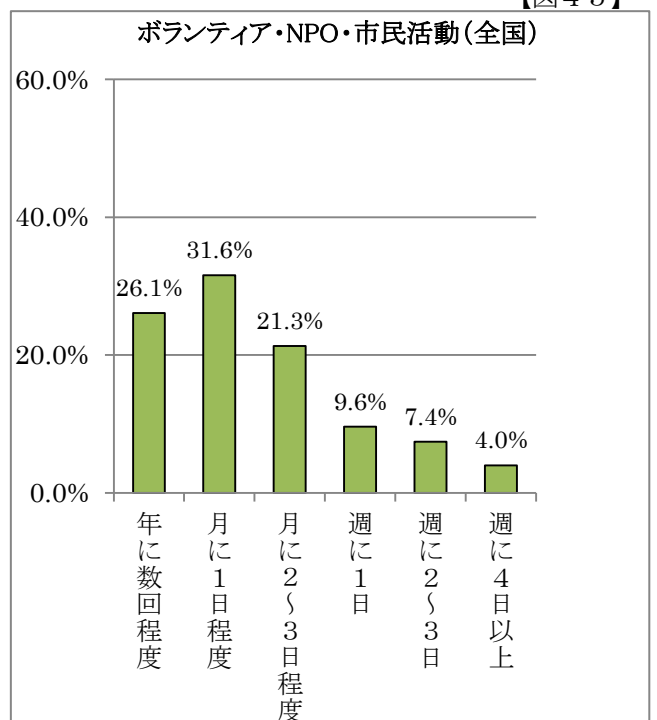
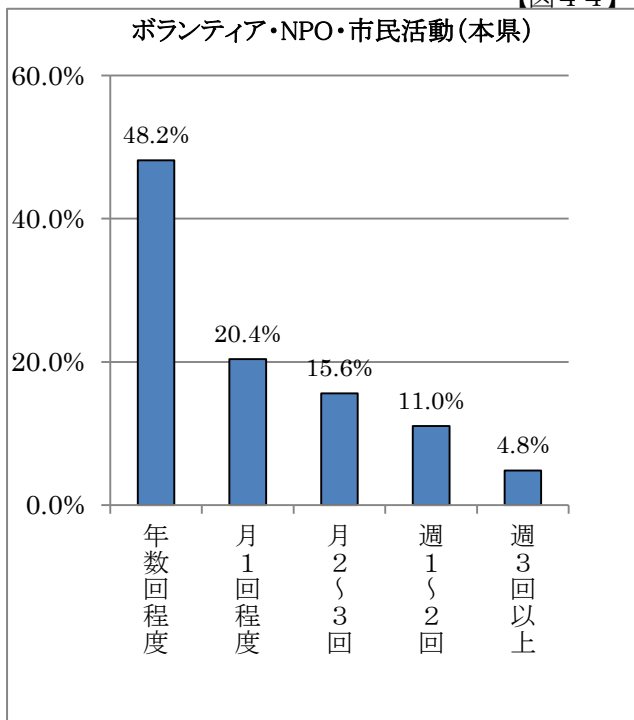
【図43】



「参加している」…本県 40.7%、全国 9.0% 本県が 31.7 ポイント上回る。

【図44】

【図45】



「年数回程度」本県 48.2%：全国 26.1%
「月2～3回」本県 15.6%：全国 21.3%

「月1回程度」本県 20.4%：全国 31.6%
「週1回以上の合計」本県 15.8%：全国 21.0%

④ その他の団体活動

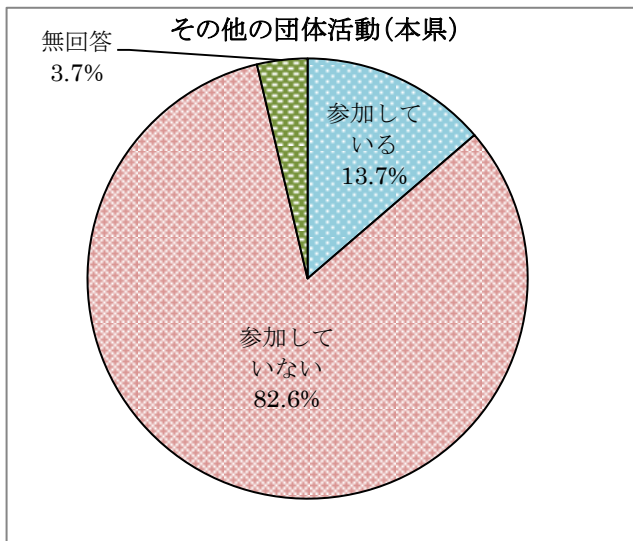
【本県 問3(1)】

a～dの項目への参加状況について選択。(SA)

- | | |
|----------|-----------|
| 1：週に3回以上 | 2：週に1～2回 |
| 3：月に2～3回 | 4：月に1回程度 |
| 5：年に数回程度 | 6：参加していない |

d その他の団体活動 …商工会、業種組合、宗教、政治等

【図46】



「参加している」…本県 13.7%、全国 6.0% 本県が 7.7 ポイント上回る。

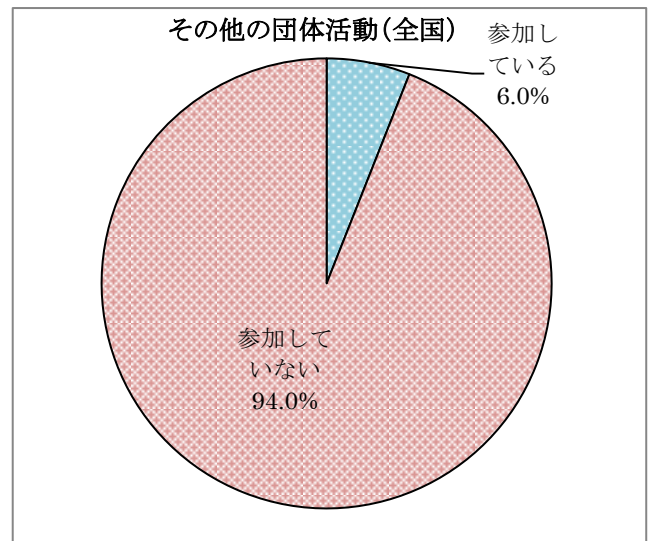
【全国】

1～4の項目について、活動の有無、及び「活動している」と回答した方のみ選択。(SA)

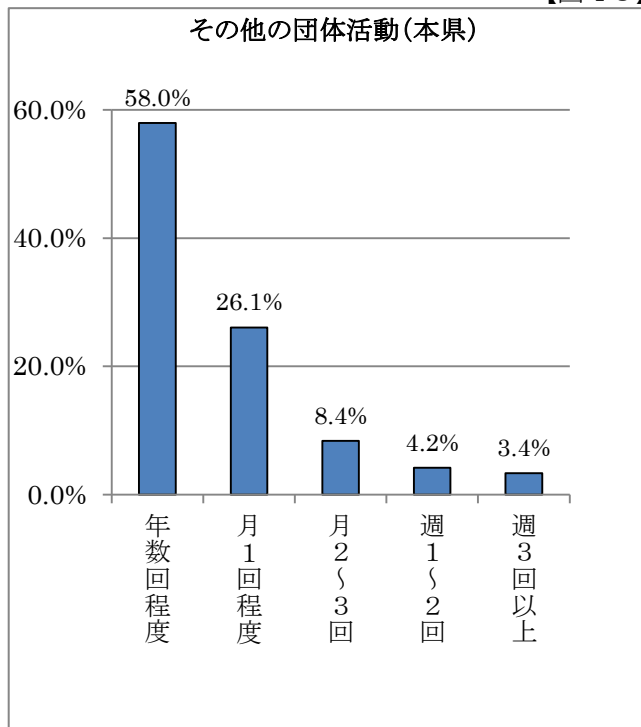
- | | |
|------------|----------|
| 1：年に数回程度 | 2：月に1日程度 |
| 3：月に2～3日程度 | 4：週に1日 |
| 5：週に2～3日 | 6：週に4日以上 |

4 その他の団体・活動 …商工会、業種組合、宗教、政治など

【図47】

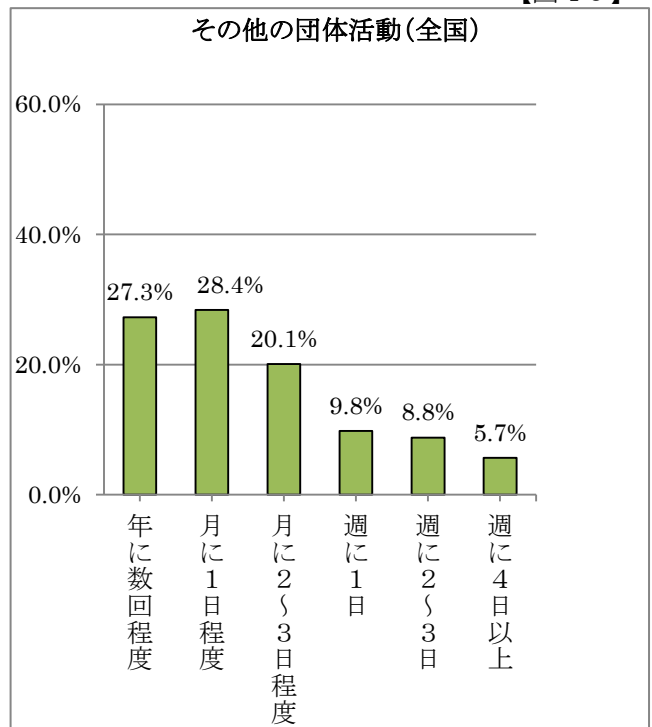


【図48】



「年数回程度」本県 58.0%：全国 27.3%
「月2～3回」本県 8.4%：全国 20.1%

【図49】



「月1回程度」本県 26.1%：全国 28.4%
「週1回以上の合計」本県 7.6%：全国 24.3%

5 ソーシャルキャピタルの醸成状況

(1) 単純集計から

- ① ほとんどの人（9割以上）が、人と直接会って話をしたり、一緒に活動したりする、いわゆる顔と顔の見える関係が大切だという意識が高い。
- ② ほとんどの人が、地域の人と挨拶を交わし、良好な付き合いができています。
- ③ ほとんどの人が、地域の人、または友人・知人等との交流があること
- ④ 地域の人には信頼できると感じている人は2割弱、一般的に人は信頼できると感じているのは1割強。
- ⑤ 地縁的な活動には6割弱の人が参加している。
- ⑥ グループやサークル活動には5割強の人が参加している。
- ⑦ ボランティア・NPO・市民活動には4割強の人が参加している。
- ⑧ 活動を通して、人のつながりができたと感じている人が多い。
- ⑨ 地域の祭り・イベント・伝統行事等には6.5割の人が参加している。
- ⑩ 交流するときに最も使われているのは公民館である。
- ⑪ 6割強の人が地域のまとまりを感じている。
- ⑫ 7割強の人が地域への愛着や誇りを感じている。
- ⑬ 8割以上が今の地域に住み続けたい（どちらかと言えば住み続けたい）と感じている。

(2) 全国調査との比較から

- ① 地域の人と生活面でも協力したり、日常的に立ち話をしたりする付き合いをする人は全国を上回っている。
- ② 友人・知人との付き合いが日常的にある人は、全国の割合を大きく上回っている。
- ③ 一般的に人は「信頼できる」と思っている人は、本県が全国を若干上回っている。
- ④ 地域活動に参加している人の割合は、すべての活動分野で、本県の方が全国よりも高い。
- ⑤ 地域活動への参加頻度（月1回以上にあたるすべての合計）は、すべての活動分野で全国の方が高い。